

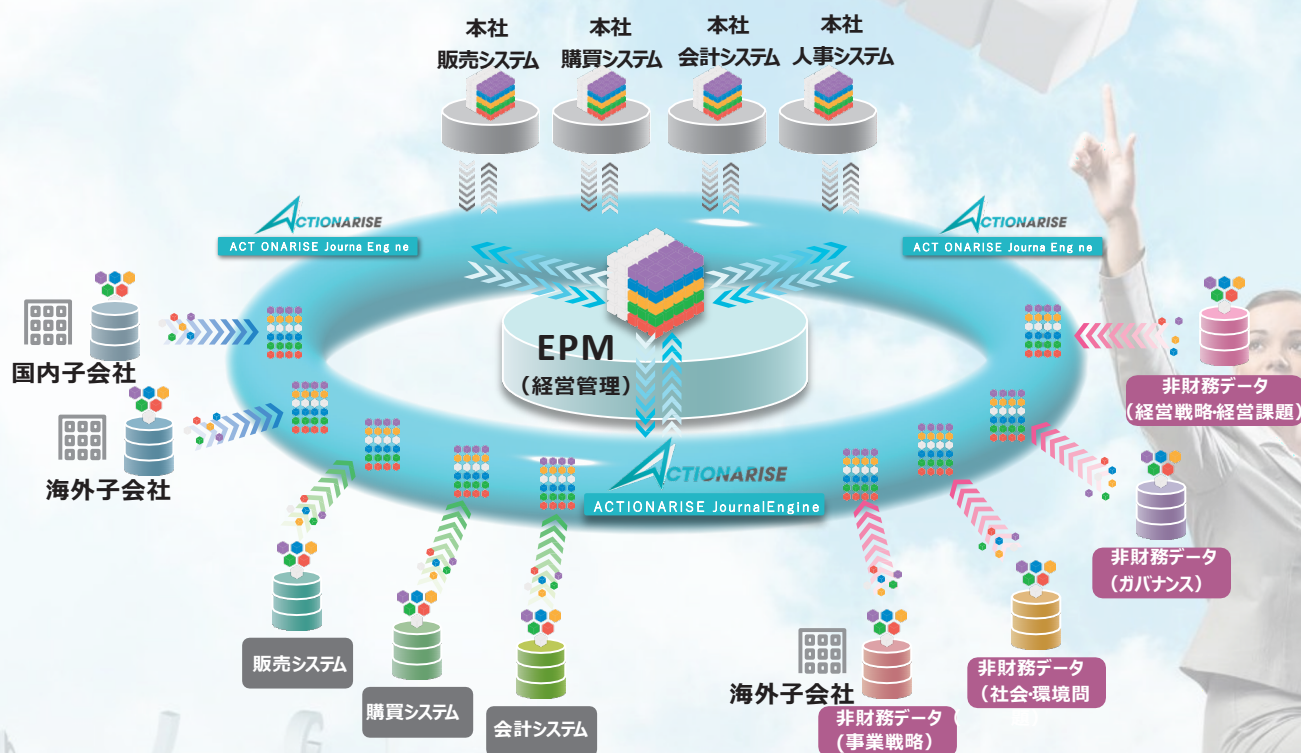
会計業務向け

# ACTIONARISE 会計自動仕訳エンジン

ACTIONARISE 会計自動仕訳エンジンは、基幹・周辺システムからのあらゆるトランザクションデータを統合データハブとして収集し、会計イベントモデルと仕訳パターンのマッピングにより、一元的に自動仕訳変換を実現します。

**ACTIONARISE 会計自動仕訳エンジンは、あらゆるシステムの「統合データハブ」として機能**

**会計データを手軽にグループ内で共有することが可能**



## ACTIONARISE 会計自動仕訳エンジン 導入によるメリット

### 環境変化への柔軟な対応

IFRSへの日本基準のコンバージェンスにより、変化する仕訳生成ルールに迅速かつ柔軟に対応。また国際会計基準と各国基準による帳簿の複数を持つことが可能です。

### 経営管理の高度化

精度とタイミングの両面で財管一致を実現。迅速で高度な財務分析を可能にし、グループ経営・グループ会計の基盤を構築。グループ各社、会社間取引の仕訳生成も可能です。

### コンプライアンスの強化

仕訳生成ルールの透明化により仕訳の根拠が明確になり、会計監査、システム監査の要件に対応。未承認の仕訳生成ルールの変更は排除されるため、内部統制を強化できます。

### 会計業務の効率化

複数の仕訳生成データの集約、決算時の残高管理や伝票照合などを自動化。また、グループ企業での会計システム共同利用、自動仕訳機能のシェアードサービス化を推進します。

## ACTIONARISE 会計自動仕訳エンジンが選ばれる理由

高度化する会計ニーズへのシンプルでしなやかな対応が、グループ経営のエンジンに

### 会計ルールの保持

既存（上流）システムの業務変更要件を吸収

- メンテナンスコストの極小化
- 仕訳作成の自動化、仕訳粒度の整理・統一により、  
残高管理や照合の自動化推進
- システム監査要件へのスムーズな対応
- 環境変化に強い柔軟性に優れた仕組みの実現

### 財管一致の実現

財務会計と管理会計で同一の会計処理を実施

- 迅速で高度な財務分析を可能に
- 決算スピードのばらつきの解消
- 本社に経理機能を集中させるシェアードサービス化の後押し

### 金額差異の事前検知

決算処理における差額未然防止・差額調査を実施

- 目視検査ではチェックが難しいミスの発見
- 原取引に遡っての差異原因の特定による  
調査コストの削減
- データの正確性・信頼性の担保
- リスクとコントロールの集中化による内部統制の強化

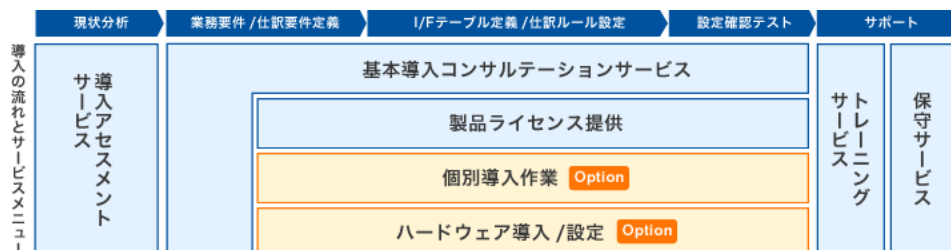
### マスターの一元管理

マスタ情報を収集・名寄せ・コード変換

- 会計データ送付時のコード変換作業の手間を削減
- ガバナンスの効いたグループ経営、  
グループ会計基盤の構築
- マスタデータの同期に伴う人的負荷やミスの軽減

## 導入/サービスメニュー

TISは、ACTIONARISE 会計自動仕訳エンジンの導入に対して、現状分析フェーズ～サポートフェーズまでシステムライフサイクルサービスをご提供します。



## オラクルクラウドテクノロジー

### Generation 2クラウド・インフラストラクチャ

#### DATABASE BARE METAL

Database Cloud Service - Standard Edition

#### COMPUTE BARE METAL

Block Volumes, VM Standard Compute X7, Object Storage - Storage, Block Storage

➤ <https://www.oracle.com/jp/cloud/products.html>

#### ソリューションパートナー



#### TIS株式会社

“ITで、社会の願い叶えよう。”  
<https://www.tis.co.jp/>

#### ソリューションお問い合わせ

**URL** [https://www.tis.jp/service\\_solution/automaticje/](https://www.tis.jp/service_solution/automaticje/)

**“ACTIONARISE 会計自動仕訳エンジン” empowered by “Oracle Cloud” from “TIS株式会社”**

本カタログの情報は2020年3月のものです。実際の製品とは内容が異なる場合があります。

OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。本書面は、第三者が提供するコンテンツ、製品およびサービスに関する情報及びアクセスを含みます。Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社は、当該第三者のコンテンツ、製品およびサービスについて一切の責任および保証義務を負わず、その利用によって生じた損失、損害および費用について一切責任を負いません。お客様の責任でご利用ください。